



動物慰霊碑が建ちました

12月12日（土）午前11時30分、日立市長、公益財団法人日立市公園協会会長臨席のもと、動物慰霊碑の寄贈式と除幕式が行われました。



《除幕》

これまで当園には動物慰霊碑というものがありませんでした。動物園に必ずなくてはならないもの、というわけではありませんが、私がここに異動になってから度々立ち会うことになる動物たちとの別れに遭遇するとき、動物によってはお別れ会などをやったとしても、「何か足りない」という思いをずっと抱いてきました。当園が開園してから50年以上経ちますが、これまで実に多くの動物たちが命を全うしてきました。そうした動物たちの貴重な生涯の上に今の動物園があるといっても過言ではありません。しかしその思いを捧げるがありません。もちろん飼育員やお客さんの心に深く刻み込まれてはいるとは思いますが、動物たちが生きてきた証としてのモニュメントが欲しい、と次第に思うようになってきました。



《根本会長》



《小川市長》

特にゴリラのアキやダイスケが亡くなった時はそう感じました。園長への手紙では、ダイスケの死後3年経つのにいまだにダイスケを偲ぶ声が多く寄せられています。以前のブログにも書きましたが、ダイスケの最期は点滴やカテーテルなどが注入され獣医や飼育員が懸命に手当するも、それも叶わず息を引き取っていきました。その姿は人間の臨終の場面となんら変わりません。ゴリラのほかにもゾウやキリン、ライオン、トラ、シマウマ、チンパンジーなど、命の重さに動物の大小は関係ありませんが、小動物に比べて寿命の長い大型動物はそれだけ飼育展示期間も長いため、飼育員やお客さんの愛着もひとしおとなってくるのは無理

からぬことです。ダイスケはたくさんのお客様に見守られながらお別れ会を執り行うことができましたが、動物への感謝の気持ちと命の大切さを伝えるシンボルとして慰霊碑が建てられないかという思いを、この時一層強くしました。



《ポニーと集合写真》

また、仕事や個人的にあちこちの動物園を訪れるようになってから、あらためて各地の動物園には動物慰霊碑があることを知るようになりました。広島市安佐動物公園の元園長の大丸さんが調べたところによると、全国の動物園（日動水加盟）の約7割に慰霊碑が設置されているとのことでした。

色々と模索していたところ、園内の売店や遊園地を運営する公益財団法人日立市公園協会様から、そういうことならぜひ寄贈させて頂きたいとの提案がありました。公立動物園ゆえなかなか予算化しにくい物件ということもあり、一も二もなくこの提案にのることにしました。

除幕式の前日までは南岸低気圧の影響で雨。当日も気をもみましたが、全く心配することなくすっきりと晴れあがりました。公園協会の根本会長様からあいさつがあり、小川市長とともに除幕！その後感謝状贈呈と市長からの謝辞があり、私からこれまでの経緯や今後の活用などを話させていただきました。

慰霊碑の建立場所は「チンパンジーの森」の上の海が臨める一角にしました。もともとは野生から来た動物たち、海の向こうの祖国が望める、といった意味合いです。碑文もいたってシンプルに。この碑を訪れた方がどのように動物たちに声を掛けるかはそれぞれに。



《慰霊碑》

また、今回、慰霊碑とあわせ公園協会様からは動物体重測定器の寄贈もありました。恥ずかしい話、当園には体重計が古い台秤しかなく、それも150kgぐらいまでしか測れませんでした。バースケールという動物を載せる計量器具は買ったのですが、ナントそれを測定し表示させる機械は別売り！「もう予算無いぜヨ」というこれまたお恥ずかしい話でしたので、ついでにそれも寄付してもらっちゃった、というチャッカリ型の寄贈だったのでした。せっかく来園者の皆さんも見守ってくれたので、この測定器を使って動物体重当てクイズをやりました。クイズはポニーやケヅメリクガメを対象動物にしたのですが、今度の測定器は1,500kgまで測れるそうです。



«ポニーは116kgでした»



«近いで賞！にプレゼント»

多くのお客様が参加され、除幕式を兼ねた寄贈式は滞りなく終了しました。今回、公園協会様には多大なるご寄付を賜りました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

2015年12月13日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)

[令和元年](#)

[平成30年](#)

[平成29年](#)

[平成28年](#)